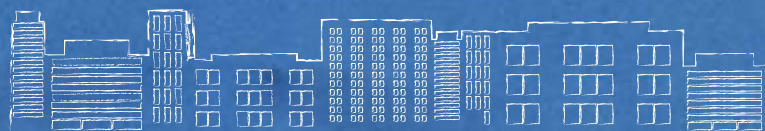


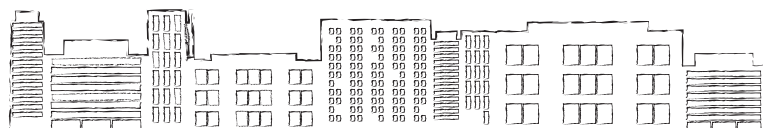
The Young
Encourages
EKI-NISHI!

若いアイデアが 駅西を刺激する



by なごや縁カレッジ

若いアイデアが駅西を刺激する
The Young Encourages EKI-NISHI!



by なごや縁カレッジ

はじめに

なごや縁カレッジは、大学・大学人・学生と地域まちづくり活動との連携促進を目的としたネットワーク組織として、2010年2月に設立しました。事務局機能を名古屋都市センターが担う、教員や学生の自主的活動組織です。設立に当たって、つぎのような活動を考えました。それは、プラットホーム機能（出会いの場、交流の場）、フォーラム機能（情報提供、学習、調査研究）、ネットワーク機能（大学や教員などを地域に紹介）、パートナーシップ機能（特定の目的やテーマに沿った協働事業）です。

本冊子にとりまとめられている「フィールド縁カレッジ」の活動は、今年で3回目となるもので、主としてパートナーシップ機能といえますが、学生たちにとっての実践的な学びの場ともなっています。初年度の2010年は堀川をフィールドとしました。2年目の2011年は名古屋都心部をフィールドとし、今年は名古屋駅西がフィールドです。縁カレッジの取り組みの主事業ともいえるものになってきました。

名古屋は東京や大阪に比べて、機能的ではあっても画一的で個性に乏しい印象があります。それは、戦災で大きな被害を受け、広幅員道路に象徴されるような区画整理事業によってきちんと整備された基盤の上に、都市空間が形成されてきたところに、大きな要因があると考えられます。その中であって、今回のフィールドである駅西はかなり特徴のある地区です。

以前、私のゼミ学生の卒論で駅西を取り上げたときに、栗本慎一郎による「光の都市、闇の都市」（1981年刊、青土社）で描かれている都市の構成、都市のイメージをモデルとして考えました。駅西が持つ独特の雰囲気は、効率的で清潔なイメージのある名古屋では、あやしさ、猥雑さ、エスニシティ（異国的）ときには危なさもはらむ、とても特徴的で貴重なものだと思います。そうした駅西も、今回、ワークショップでご協力いただいた地元の皆さんのいろいろな取り組みもあって、変わろうとしています。

本冊子にまとめられている学生たちの提案は、様々な視点、手法で駅西の魅力を発見して、その中に入り込もうとする意欲や挑戦に満ちたものとなっています。行政や専門家から見れば思いつきや表層的と見えるものもあるかもしれませんが、既成概念にとらわれない視点、視線がたくさんあります。これからのとりくみのヒント、刺激を見いだしていただければ、われわれにとってもうれしい限りです。

本年のフィールド縁カレッジの実施に当たって、参加した学生たちと教員のみならず、まちづくりワークショップでご協力いただいた地域の皆さん、事務局の名古屋都市センターをはじめ、関係者の皆さんに厚く御礼を申し上げます。

名城大学都市情報学部 教授 海道 清信

目次

0. はじめに	00
1. 駅西地区概略	02
2. まちづくりWS	08
3. アイデア	
ナゴ校	16
愛知大学	18
高知工科大学	26
大同大学	28
名古屋学院大学	35
4. 講評	46
5. あとがき	49

ねらい・目的

地域と大学の連携によるまちづくりを応援する「なごや縁カレッジ」は、多数の大学やまちづくり団体の協力のもと平成21年度にスタートしました。その中でも、実践型プロジェクトである「フィールド縁カレッジ」では、実際に学生たちがフィールドワーク等を通して考えたアイデアを募集し、まちづくり関係者や行政に対して提言してきました。

今回は、平成23年度のフィールド縁カレッジで制作したまちづくりアイデア集「若いアイデアが都心を刺激する」の優秀アイデアのうちから、「名古屋駅西地区」に焦点を当ててフィールドワーク等を行い、まちづくりの方向性を考えました。

取り組み内容

平成24年10月6日（土） まちづくりワークショップ @ 中村区役所



この間、参加チームごとに「まちづくりアイデア」を検討しました。

平成24年11月30日（金） アイデア提出



多様なアイデアが集まりました！

平成25年3月17日（日） フィールド縁カレッジ報告会 @ 都市センター

まちづくり関係者の前で、「まちづくりアイデアを」発表！



実施体制

- ・主催：なごや縁カレッジ
- ・協力：5 団体：名古屋駅太閤通口まちづくり協議会、名古屋駅地区街づくり協議会、名古屋駅南地区まちづくり研究会、独立行政法人 都市再生機構、中村区役所
- ・参加大学：5 大学 + 1 校（参加チーム数：10 チーム 参加学生数：56 名）
愛知大学、高知工科大学、大同工業大学、名古屋学院大学、名城大学、ナゴ校

アイデア募集の観点

まちあるきワークショップや以下のテーマを観点として、駅西地区のまちづくりに
ついてのアイデアを募集することとなりました。

- A. この地区で起業したりお店を開くとするならどのようなものとするか？
- B. リニア中央新幹線が乗り入れ後はどのようなまちにしたいか？
- C. 名古屋めしや食文化の発信拠点としてどのような取り組みができるか？
- D. 地下街（エスカ）の魅力向上にはどのようなことが必要か？
- E. 公共空間（公園、広場や道路）を活かして地区の魅力を高められないか？
- F. アジアンテイストな国際色をどのようにまちづくりに結び付けていくのか？
- G. 駅西銀座商店街の活性化を図るにはどうしたらよいのか？
- H. アニメやアイドルなどのサブカルチャー資源をどのように活かすのか？
- I. 新幹線や観光バスなどの広域交通拠点機能向上には何が必要か？

駅西地区の概要

現在、名古屋駅太閤通口は「駅西地区」と呼ばれ、名古屋の西の玄関口として多くの来街者でにぎわっています。しかし、かつては戦後の窮乏のなか、600 件ものバラックや闇市が乱立し、治安・衛生状況が悪く、火事が多発する「駅裏」として知られていました。

昭和32年、名古屋市は7年後の東海道新幹線乗入を見越して都市改造事業を進め、四割減歩を伴う区画整理事業等により駅前広場や椿町線などが整備されました。その後も、民間が主導する再開発事業などによる土地の高度利用化や交通結節機能の向上に伴って発展を続けています。

平成 24 年には、地域住民、企業、県警などから構成される「名古屋駅太閤通口まちづくり協議会」が設立され、風俗系店舗の抑制や地域イメージの向上、多国籍の魅力やポップカルチャー（アニメ、アイドル）等の地域資源を活かしたまちづくりを進めています。

駅西地区 沿革

- 明治 4 年 名古屋県愛知郡牧野村となる。
- 明治 19 年 笹島に名古屋駅が建設され東海道線開通。
* しかし、市中心部とのアクセスが悪化し地域の発展が遅れる。
- 明治 24 年 立体交差橋である明治橋開通。
- 大正 2 年 明治橋～中村公園間に中村電車開通。
- 大正 10 年 名古屋市中区に編入される。
- 昭和 7 年 笈瀬川が暗渠化され、笈瀬通となる。
- 昭和 12 年 名古屋駅が現在の位置に移転。名古屋市中村区が創設。
- 昭和 20 年 終戦を迎える。この地域に闇市が立ち並んだ。
- 昭和 32 年 駅西地区都市改造事業開始。
- 昭和 34 年 伊勢湾台風襲来。
- 昭和 39 年 東海道新幹線開通。駅西地区都市改造事業完了。
- 昭和 46 年 地下街エスカ開業。
- 昭和 60 年 生活創庫、名鉄ニューグランドホテル開業。
- 平成 元 年 地下鉄桜通線開業。名古屋駅太閤通口広場整備。
- 平成 15 年 ビックカメラ名古屋店開業。
- 平成 16 年 あおなみ線開業。
- 平成 17 年 愛知万博「愛地球博」開催。笹島地区にサテライト会場。
- 平成 24 年 愛知大学名古屋キャンパス開校。
名古屋駅太閤通口まちづくり協議会設立。



名古屋駅の西の玄関口



昼夜問わずにぎわうビックカメラ



シャッターの閉まった駅西銀座



都区内に点在するアニメショップ

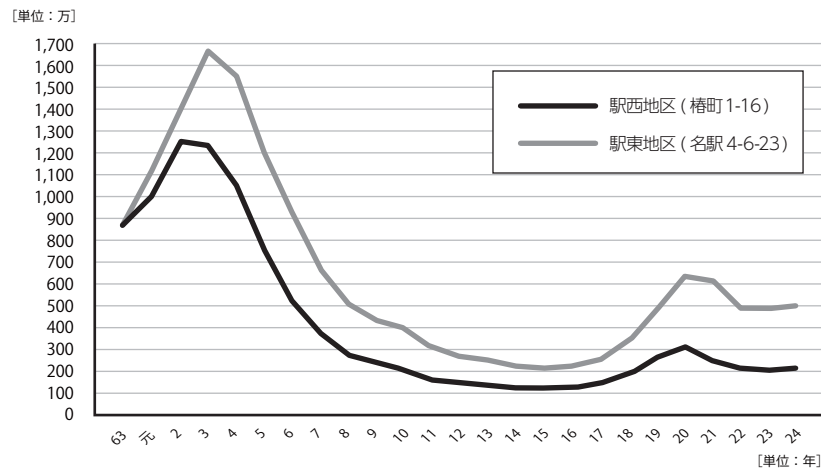


アジア系食材を扱う店舗



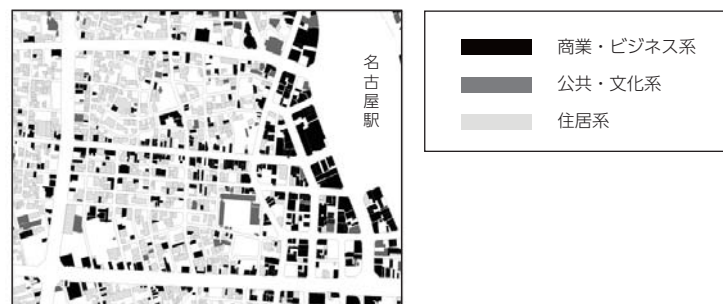
静謐をたたえる椿神明社

地価の推移（公示地価）



- ・両地区の地価の推移は、概ね同様の傾向となっています。
- ・昭和 63 年時点では、駅西地区の地価が駅東地区の地価を上回っています。
- ・平成 2 年、駅西地区は駅東地区に先行して地価の下落がはじまります。その後、10 年強で実に 9 割も地価が減価することとなります。
- ・その後、00 年代後半の好景気を受け地価も上昇します。この頃は、堅調な製造業が名古屋経済を牽引し、都心部で大型開発が進んでいたことなどから、「元気な名古屋」と言われていました。
- ・近年では、リーマンショック等により地価が下落しましたが、ここ数年で横ばいとなっています。
- ・現在では、駅東地区の地価は駅西地区の 2.5 倍程度となっています。

土地利用の状況



- ・地区の大まかな土地利用の状況を見ると、駅周辺や広幅員街路沿線に商業や業務系用途の集積が見られるほかは、住居系が大半を占めていることがわかります。

まちづくりワークショップの様子

今年度のフィールドは駅西地区ということで、実際にまちづくりに関わる人の話を聞き、その後にまちあるきをして、感じたことや気づいたことについて発表を行いました。

■ 開催日 平成 24 年 10 月 6 日（土）13：00～17：00

■ 開催場所 中村区役所 会議室

第一部 基調講演

駅西地区、名駅地区、名駅南地区において活躍するまちづくり関係者による講演と、有識者による「都市論」のレクチャーを行いました。

【要旨】

・名古屋駅太閤通口まちづくり協議会 河村満氏

地域で制作したフォトムービーを使って駅西地区のまちづくりを紹介。戦後の闇市の時代から新幹線整備、大型開発、駅前空間の整備を経て、都市の開発が進んだものの、地域内の連携が弱くなってしまった。そこで、今年の 5 月には、歴史や多国籍性などの地域の魅力を高めていくことを目指し協議会を設立した。11 月にはアイドルグループ DELA やアジア系住民、近隣専門学校の協力のもと「椿フェスタ」を開催し、地域の活性化につなげたいと考えている。駅西地区はいろいろな可能性を秘めたエリアであり、じっくり見て楽しんでほしい。



・名古屋駅地区街づくり協議会 藤井修氏

15 万人もの就業人口を抱える名古屋駅地区において、多くの参加企業や賛助会員に支えられながら、さまざまなアクションやプランニングを進めている。ガイドラインでは、理念、趣旨、将来像を掲げ、リニア新幹線乗入を見越して目標年次を 2025 年とした 6 つの戦略を組み立てている。内容としては、名古屋の強みである豊富な路線を活かしたターミナルシティ



形成戦略をはじめとして、回遊性向上や環境負荷軽減など、まち全体の魅力を高めるものとしている。また、行政と連携しながら広告事業や公共空間の共同管理などの社会実験も進めており、今後は本格実施に結び付けていきたい。

・名古屋駅南地区まちづくり研究会 近藤多喜男氏

地域団体や住民組織の協力のもと作成したマスタープランでは、名駅南地区を「文化・交流軸」として位置付け、名駅地区と栄地区とをつなぐ軸線として機能するだけでなく、大規模空地の活用などを通して、名古屋の都心まちづくりの中で地域としての役割を果たしていきたいと考えている。また、学びや仕事を通して創造性を培うこと、安心安全なまちづくり、快適な居住や住まいかたを考えていくことが大切だとも考えている。今後は周辺地区との協力体制を強化して、協議会への移行を目指していく。



・名古屋大学 小松尚先生

名古屋の歴史において、清洲越以来の中心地である碁盤割地区は、町人町として発展してきた。一方で、江戸～明治時代にかけて「さかり場」として発展した大須は寺社町であり、猥雑で祝祭性のある空間として人々を魅了してきた。「さかり場」には、名駅や栄などに見られる先進性と、駅西や大須などに見られるごった煮の猥雑性の二つの側面がある。都市は「昼と夜」や「ハレとケ」など、さまざまな要素が混在しているからこそ魅力がある。たとえば、「DELA」や「椿ちゃん」などは駅の東側にはない発想であり、駅西ならではの地域資源である。学生の皆さんも、本日のまちあるきを通して他の地区にない魅力を探してみると面白いのではないかな。



第二部 まちあるきワークショップ

第一部の基調講演を踏まえて、学生たちによるまちあるきとワークショップを行いました。ここでは、さまざまな意見が出され、駅西地区の魅力と課題が共有されました。

【学生たちの意見】

- ・ 目的施設となるような拠点がない。
- ・ 地域全体として人通りが少なく、さびしい雰囲気である。
- ・ 駅西銀座は昭和の面影を残していて良い雰囲気であるが、人が少なくさびしい点や空き店舗が多い点が残念。うまく活用できると良い。
- ・ 緑が豊かな椿神明社が歴史あるまちの雰囲気を残しており魅力的な資源だと感じた。
- ・ 道が入り組んでいて見通しが悪い、信号が少ないなど道路に課題があると感じた。
- ・ 風俗店が目立ちすぎていて地域の印象を悪くしている。
- ・ 中村区役所周辺の住宅地は、都心に近い立地でありながら静かであり、魅力的だと感じた。
- ・ エリアごとにアニメショップの集積や異国情緒があるなど多様性に富んでいて、面白いまちであると感じた。
- ・ 案内板など地域の情報を知るものが少ないので、スマートフォンなどに対して情報発信できると多くの来街者がやってくるのではないかな。
- ・ 若者 / 高齢者がやってくるまちになると良い。



【まちづくり関係者・有識者等の講評】

- ・ 地元関係者としては、学生の視点からまちの魅力を再発見してもらえてうれしい。
- ・ 駅西地区は、東西に三つのエリアに区分できると思う。各エリアの特色をどのように活用するのが重要。
- ・ 良好な住環境が残されているので、そうした点を前面に出して定住人口を増やすことを考えるべき。
- ・ 風俗街については一概に否定するべきではなく、そうした環境が土地利用やビル経営にどのような影響を及ぼすかなどについて考察できるとよい。
- ・ 観光案内情報には駅の東側ばかりが強調されていることが問題。
駅西地区には専門学校に通う学生など若い人材が豊富なので、インキュベーション施設など多様な可能性がある。
- ・ 名古屋駅の東側に比べて飲食店の単価が低い点も強みとなるのではないかな。
アイデアを考える際には、単なるマイナーチェンジや「第二の大須」といった
- ・ 発想ではなく、大胆「駅西でしかできないまちづくり」を考えてほしい。

ワークショップ感想

今回、初めてじっくりと駅西を歩き、駅西の良い所、悪い所もみつかりました。また、いろいろな方の話が聴けて街づくり大変興味を持つことができ、たくさん学ぶことができました。

〔大同大学 工学部 建築学科 / 笠嶋研究室 4 年 飯田佑翔〕

初めて、こういう場にまねいてもらい、たくさんのお会い発見ができ楽しかったです。最初は何をやっていいのかわからず不安でした。そしてリーダーに選ばれテンパってしまいました。しかし、皆さん優しい方達が多かったので安心してリーダーを努めることができました。新しい発見や自分の考え方が変わった場でした。これからもこういうイベントを開催してほしいと思いました。今日はありがとうございました。

〔大同大学 工学部 建築学科 / 笠嶋研究室 4 年 石井隆紀〕

普段、なかなか中村区方面へ足を運ぶ機会がありませんでしたが、このような企画で、ゆっくりと街を歩いてみると、今まで気付かなかった街並み、雰囲気、空気感など細かな部分もチェックすることができたので、大変勉強になり、また良い所にも気付くことができました。

〔大同大学 工学部 建築学科 / 笠嶋研究室 4 年 川邊勇佑〕

名古屋駅西を歩いてみて今まで知らなかった所を知る事ができて良かったです。今回歩いて 1 番感じた事は人の動きの動線というのは大事だなという事を再確認しました。名駅周辺にあるサブカルチャーはとてにぎわっているんだなあという印象を受けたので、それをうまく活用していくべきだと思います。

〔大同大学 工学部 建築学科 / 笠嶋研究室 4 年 後藤次郎〕

多人数でのグループワークや敷地の特徴をまとめていくのは難しいという事が分かりました。今回のまちあるきでは良い所も悪い所もバラバラに点在していましたがマイナス同士を組み合わせプラスにできそうな所もあり、たくさん可能性を秘めた場所だと思いました。

〔大同大学 工学部 建築学科 / 笠嶋研究室 4 年 小林成彰〕

話を聞いたり、地図を見たりするだけでなく、実際にまちを歩くことによって特徴であったり雰囲気を知ることができ、まちのこれからについての考えをめぐらすことができよかった。今日の体験の中で感じたことを元にアイデアを出していきたい。

〔大同大学 工学部 建築学科 / 笠嶋研究室 4 年 西村真由子〕

名古屋に住んでいながら、あらためて町を歩いて、町を見れてよかった。名駅の西と東がなぜ違うのか。また、名駅周辺のそれぞれの役割というものを知ることができてとても勉強になり、自分の中でさまざまなイメージふくらますことができた。

〔大同大学 工学部 建築学科 / 笠嶋研究室 院 1 年 佐合孝文〕

まちあるきをしながら街の様子や今後のことを考え意見を出し合うのは初めてだったのだが、実際に街を歩き、自分の目で見ることで、今まで聞いてきた街の現状からはわからなかった物が見えてきた。今回のことは良い経験だと思った。

〔大同大学 工学部 建築学科 / 笠嶋研究室 4 年 匿名〕

今まで表面部分しか見ていなかった駅西地区を初めて中の方まで見させて頂いて、当初思っていたイメージと違う部分がたくさんあり、新しい発見をすることができました。ですが、せっかくある資源をまだまだ利用しきれていないところも多々あるなとも思ったので、その部分をうまく利用できれば、もっと活気づくのではないかと思います。

〔ナゴ校（名古屋大学 工学部 電気電子・情報工学科 / 3 年）西村翔平〕

景観・移動について、私は「デザイン都市」を名古屋で目指していくに当たり、駅西の道路、歩道、自転車メーターや地下へのアプローチなど様々な事物に対し、モニュメントを造るよりもこちらのデザインを気にした方が良いと考えます。また、動線についてもこれほど歩きにくい街はないので、椿町線だけでも歩行者に対して気を使うべきだと感じます。駅西銀座に関しても、今一度、シャッター街に関し学生に向けて聞くなど動きを作るべきだと思います。

〔ナゴ校（名古屋大学 経済学部 経営学科 / 3 年）冨田貴大〕

今日は「まちづくり」というものに興味があるので参加させていただきました。駅西といっても、通りを 1～2 本入ったところまでしか来ないので、実際に自分の足で歩くことで発見ができたので楽しく学べました。また、こういった機会があれば、自分の足で歩いて見て回るということをしたいなと思いました。

〔ナゴ校（愛知淑徳大学 メディアプロデュース学部 / 3 年）安田有希〕

私が今回のフィールドワークに参加して思ったことは、まちづくりというものはある意味その町が好きで、慣れ親しんでいる人にはできないということだ。というのも、なぜこうなのか、なぜこうしないのかなどの違和感を常にもてる人が必要だと思ったからだ。そのような意味で今回の試みはとても意義のあるものになったと思うし、私自身まちづくりに携わる様々な人に貴重なお話を聞け、またとないう経験となった。今後は今日のことを「非日常」と括らず、日常的な行動にアウトプットしていきたい。

〔ナゴ校（名古屋大学 経済学部 / 1 年）犬飼典恵〕

名古屋は交通の便としてしか利用をしておらず、今回駅西をまわってすごくもったいないと思いました。焼肉店や居酒屋といった飲食店や、おもしろそうなお店が多くあり、今後もっと利用していき、知らない人にも名古屋西にこういうお店やおもしろそうな場所があるということを発信していけばと思います。

〔ナゴ校（愛知工業大学 情報科学部 情報科学科 / 松河研究室 3 年）柴田将成〕

今回のワークショップに参加して気がついたことは、始めの講義で駅の「表」と「裏」では発展のレベルが違う理由を聞き、実際に町を歩くとその歴史を垣間見ることができるということだ。独特の雰囲気がある町を活かして企画を考えたい。

〔名城大学 理工学部 環境創造学科 / 大影研究室 4 年 安田寛弥〕

今日の話し合いで駅西地区について今まで知らないこととか知ることができました。とくに私は岐阜出身なのですごく勉強になりました。今日の話し合いで学んだことをこれからのアイデアにいかしていきたいです。

〔名城大学 理工学部 環境創造学科 / 大影研究室 3 年 清本亮太〕

駅前なので魅力的なものが数多く、人通りが多いのも納得したが、道が一本違うだけで駅前なのか、疑うくらいに人通りがなかった。魅力がないわけではないからどういう風に発展させるか考えていくのはおもしろく感じました。

〔名城大学 理工学部 環境創造学科 / 大影研究室 3 年 宮内祥伍〕

名古屋西を初めてじっくり歩いて、商店街が全然開いていないというのが第一印象でした。でも、若者を集めるアニメイトなどのスポットがあり、これから若者がどんどん集まっていく町になるかと感じました。

〔名城大学 理工学部 環境創造学科 / 大影研究室 3 年 河野圭亮〕

座学の時間では名駅西の歴史などを知り、面白かったです。まちあるきの時間では、知らない他大学の人と交流ができ、今まであまりしなかった経験ができてよかったと思いました。

〔名城大学 理工学部 環境創造学科 / 大影研究室 3 年 扇田晋行〕

名駅周辺はよく行ったことがありましたが、「そういえば駅西地区は来た事がないな、どんなところだろう」というのが僕の最初の印象でした。しかし今日、グループで町を歩き、意見交換をしていく内に名駅とは違ったレトロな感じやサブカルチャーなど興味深い文化がたくさんあって楽しい町だなと思いました。

〔名古屋学院大学 経済学部 政策学科 / 井澤研究室 3 年 江坂健〕

今日は、普段生活していても気付かない街の良いところ、悪いところを同世代の目で見つける事ができよかったと思います。普段、他の大学の方々と交流出来ないのもよい機会にもなりました。駅西地区もまだまだ魅力がある地域だと思うし、

様々な世代が名古屋の入口として他地方の方々が寄ってくれる町にして欲しいです。ありがとうございました。

〔名古屋学院大学 経済学部 政策学科 / 井澤研究室 3年 大西了〕

初対面の方々と町を歩き回って、話し合う、初めに聞いた時はおどろき、不安に感じていましたが、いざ参加してみると、非常に有意義なものでした。

この先も活動は続けていきますが、今回以上の意気込みで望んでいきます。

〔名古屋学院大学 経済学部 政策学科 / 井澤研究室 3年 古閑光将〕

始めて会った人々とグループを作り、名古屋の町をあるいて自分の考えや他の人達と話し合ってやるということに、始めはちゃんとできるのか不安でしたが、やってみたら楽しくできましたし、様々な考えを聞くことができて楽しかったです。

〔名古屋学院大学 経済学部 政策学科 / 井澤研究室 3年 高柳葵〕

名古屋駅周辺のくわしい先生方のお話をうかがうことができ、とても勉強になりました。一緒にフィールドワークをした学生方にも同じテーマを学ぶ人同士、刺激を受けました。発表はとても緊張したけど良い体験でした。本日はどうもありがとうございました。

〔名古屋学院大学 経済学部 政策学科 / 井澤研究室 3年 船橋弘樹〕

駅西を歩いてみて（初めて）、おもしろい店、問屋を発見した。風俗店のイメージが強かったので、怖いイメージがありましたが、思ったより歩きやすかったです。新たな発見をしたので、これから駅西歩いてみようと思いました。住みやすそうなまちなみで、住んでみたいです。

〔愛知大学 経済学部 経済学科 / 栗原研究室 4年 北川あや〕

本日は貴重な時間をありがとうございました。普段、なかなか1人では来られない駅西地区でしたが、今回参加させて頂き、改めて駅西地区開発の可能性を感じました。また、次は内容をまとめ実際に稼働できるプロジェクトを提案したいと思います。

〔愛知大学 経済学部 経済学科 / 栗原研究室 4年 橋詰智弘〕

名古屋駅西地区には、居酒屋、大型家電店、サブカルチャーを扱う店、風俗店、多国籍店、専門学校、予備校などが混在していた。中部の玄関口という要素と、それらの要素を組み合わせる名古屋駅西独自の魅力をつくりだしたい。

〔愛知大学 経済学部 経済学科 / 栗原研究室 3年 鈴木理紗〕

駅西地区を歩き、駅西の魅力を発見することができました。サブカルチャーの集客率が高いということや専門学校が多いという点から、サブカルチャーと専門学校が協力して新たなスポットを作ったり、イベントが行えたら、駅西地区の集客

率の増加につながると感じました。また、駅西銀座がシャッターが閉まっているところが多かったので、レトロな雰囲気を生かしたお店ができればいいなと思いました。

〔愛知大学 経済学部 経済学科 / 栗原研究室 3 年 池村祐子〕

今までじっくりと歩き回る機会が少なかった名古屋駅西のまちあるきは、多くの発見があって楽しかった。特に初めて訪れた駅西銀座は、シャッターが閉まっている店が非常に多く目に付き、改善、街作りの可能性が大きく秘められているように思えた。

〔愛知大学 経済学部 経済学科 / 栗原研究室 3 年 梅本健太郎〕

各グループがそれぞれまったく違う意見を出していて、自分が考えていた駅西のイメージがさらに広がったと思いました。また、今後駅西をさらに散歩してみたいと思いました。そして駅西だけではなく、自分達が暮らしている町についても考えて、その町の市役所等に政策提案をしてみたいと思いました。今日は自分にとって非常に有意義な時間を過ごせて良かったです。

〔愛知大学 経済学部 経済学科 / 栗原研究室 3 年 直井将也〕

名古屋駅から、これほど近くに住宅街があることには驚きました。好立地、昔ながらの街並みという点を利用して、新たな住人も増やしていけたらいいのではないのでしょうか。居酒屋、ビックカメラ以外にも来くなるような駅西になってほしいです。

〔愛知大学 経済学部 経済学科 / 栗原研究室 3 年 中馬里帆〕

名駅西地区はあまり知らなかったのですが、現状がどうなっているのかを知る良い機会になりました。今回得たものを活かしながら、名古屋をもっと良くしてゆくための案を出してゆければと思います。

〔愛知大学 経済学部 経済学科 / 栗原研究室 4 年 匿名〕

これまで街作りなど深く考えたことがなかった。発展するかしなないかを自然に任せるのではなく、自分達で見て聞いて考えるのはとても勉強になった。駅の西という、とてもいい立地なのでこのまま発展させないのはもったいない。

〔高知工科大学 マネジメント学部 マネジメント学科 / 園研究室 4 年 須藤祐二〕

今日は普段出来ない活動をすることができ、非常に充実した 1 日となった。また、他大学との交流を持つことができ、自分自身、刺激があり、就活への危機感を持つきっかけとなった。これを機に色々なイベントに参加して行き、周りからの刺激を受けていきたい。

〔高知工科大学 マネジメント学部 マネジメント学科 / 園研究室 3 年 大坪千倫〕

名古屋に初めて来て、高知やその他の地域との雰囲気、まちづくりの違いに触れることができました。始め、名古屋の都市論について学んだ時は、固そうなイメー

ジがあったけれども、実際にフィールドワークをしてみると、レトロな雰囲気も持ち合わせていて、独特なまちだと感じました。

〔高知工科大学 マネジメント学部 マネジメント学科 / 園研究室 3 年 岡本和真〕

高知の大学から参加させて頂き、名古屋のまちづくりの活動に携わるということとは不安でもありましたが、初めて名古屋の街を訪れたことを利点にとらえて、新しいアイデアが出せれば良いと思いました。私は大阪の街によく足を運びますが、名古屋駅前、大阪とはまた違った栄え方をされていて魅力的でした。このような魅力を西地区にも流れるようなアイデアを考えたいと思います。

〔高知工科大学 マネジメント学部 マネジメント学科 / 園研究室 3 年 鈴木くみこ〕

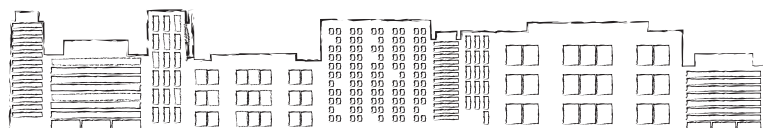
今日初めて名古屋に来たのですが、想像していた名古屋とちがいました。金のシャチホコ！というきらびやかなイメージでしたので、落ちついたイメージでびっくりしました。また、新しい名古屋のイメージで、問題点を考えて西駅の発展に少しでもかかわれたら嬉しいです。

〔高知工科大学 マネジメント学部 マネジメント学科 / 園研究室 3 年 椿原はる菜〕

今回、高知から参加させていただいて初めて名古屋にやってきました。他の大学の教授の方や学生さんとお話する機会はあまりなかったので、それだけでもすてきな経験になりました。自分が大学入学前から興味を持っていたまちづくりについて、色々な方の意見を聞くことができ参加できたことを本当に良かったと思います。ありがとうございました。

〔高知工科大学 マネジメント学部 マネジメント学科 / 園研究室 3 年 増原未来〕

The Young IDEA for EKI-NISHI !



駅西情報を満載したフリーペーパー

ナゴ校 / 西村翔平 玉城明里 富田貴大 安田有希 犬飼典恵 久野愛理 柴田将成 福重茉友

～背景～

駅西を歩いたことで、駅西には“面白そうな店”が多いことがわかった。特に立ち飲み屋などの大衆的な飲み屋が多く、またアニメ・マンガなどに関係したサブカルチャー的なお店や、アジアな異国情緒あふれるお店等もいくつか見られた。しかし、ただ感じたことといえば“人が少ない＝活気がない”ということだった！せっかくこんなに魅力的なお店があり、また交通の面でも便利な場所であるのになぜこんなに人も通りが悪いのだろうか。駅西銀座通商店街にもサラリーマンが立ち寄りそうなお店がいくつか出ていたが、やはり人通りがなく、またシャッターが下りているお店も沢山みられたことによってさらに寂しさに拍車がかかっているような気がした。これは、“街の魅力を十分に広報できていない”ことが原因の一つなのではないかと考え、こんなアイデアを考えてみた。

～駅西情報掲載フリーペーパー出版会社の起業～

手軽に色々な場所に置くことができ、また気軽に手にすることができる情報誌といえばフリーペーパーである。最近では地域のフリーペーパーが駅などに置いてあったり、また特に学生の間ではそれぞれの大学周辺の情報を載せたフリーペーパーが流行っていたりしており、今や多くの人達にとって主な情報元となっているフリーペーパー。そこで、駅西のお店、企業からの掲載費を収入源として、駅西の情報が詰まったフリーペーパーを発行することで、ハンドガイドマップ的な機能を果たしつつ、駅西の立ち寄りにくいイメージを払拭することで、駅西の活性化につなげていくことが可能になると思われる。

～内容～

基本的に対象となるのは、もともとの駅西で構えているお店の種類から考えて、会社帰りや出張してきたサラリーマン、アニメ・マンガ好きな人々である。

会社帰りのサラリーマンの方を対象とするならば、やはり飲み屋の情報は外せない。駅西に立ち並ぶお店の情報をや、クーポンなどのオススメ情報なども掲載することであらたなお客を引きつけることにつなげる。また駅西にはビジネスホテルなども多くみられるので、ホテルなどにも配置させて頂いたり分かりやすいMAPを載せることで出張してきたサラリーマンや旅行者に手に取られやすい内容になり、またサブカルチャー的なお店のイベント情報を載せることで、そのイベントを目指して駅西に若者が集ってくるという効果が期待される。さらにこれに加えて、駅西アイドル delaさんを表紙やコーナーページに使わせて

もらうことで、華やかな印象を持って、もともと抱いている駅西への少し暗いイメージの払拭に繋がり、また最近はスマートフォンを使用している人達も多くみられるので、店舗検索機能を充実させたアプリの開発やSNSを通しての情報発信により、さらなる駅西への人の導入、活性化が促進されるだろう。

今回は起業するならば…という観点からこのようなアイデアを考えてみたが、学生がこういったフリーペーパー作成団体を結成して、広報活動に努めていくのも面白いなとも感じた。

昼の「駅西」の活性化

愛知大学 経済学部 / 池村祐子 梅本健太郎 加藤雅裕 岸勇斗 中馬里帆

「昼の駅西」を活気づけるために3つ提案する。

1, 若年層の増加

駅西には専門学校、予備校が多くある。しかし、カフェなどの飲食店、ランチができる場所が少ない。専門学校生や予備校生に利用しやすい街にするために、空きビルを利用し「カフェ」を作る。学生が利用しやすい価格設定や学割を利用できる店にする。例えば一律500円でランチを提供するようにすれば、学生が利用しやすく、立寄りやすくなる。

鮮やかな彩りの店を増やし、視覚的に楽しい雰囲気を作り出すことで、若年層に興味を持ってもらえるようにする。遠くから見て何を取り扱う店なのかわかるようにし、店に入る抵抗がなくなるようにする。歩道や広場を利用してオープンカフェを増やすことで子供連れの客や若者が足を運びやすくする。そうして、信号待ちをしている時や移動しているときに人々の目につき、ふらっと立ち寄れるようにする。また、モーニングサービスがあり、他人の芽を気にすることなく友人、家族同士で会話を楽しめて、長居したくなるような店を増やす。

2, 高齢者層の増加

昼間の駅西の集客率を上げるためのターゲットとして「中高年」を挙げる。そこで、駅西銀座商店街の空き店舗を利用し、「中高年ファッションなら駅西銀座」となるよう、中高年向けアパレル店を集めた商店街にすることを提案する。少子高齢化に伴い、中高年は増加傾向にある。中高年の絶対数が増えれば、「年を重ねてもオシャレでキレイと言われ続けたい」と思う中高年の数も増える。シニアファッションへのニーズがあるにもかかわらず、中高年向けアパレル店を集めた商店街が数少ないのが現状である。具体的な提案内容としては大きく3つ挙げることにする。

1つ目は、「駅西銀座商店街の空き店舗に中高年向けアパレル店を入れる」ことだ。男性向け、女性向け店舗を混在させることで、夫婦でも友達同士でも買い物できる環境にする。また、中高年は若者より人とのふれあいを求める傾向があるので、店の人と会話しやすい開放的な店内にするため、商品の配置を商店街全体で心がけると、より親しみやすい商店街になるだろう。

2つ目は「シニアファッションショーを開催する」ことだ。年に2回程度開催し、ファッションショー当日は交通規制を行い、商店街の道路をランウェイにする。もちろん、ファッションショーで着る服は、商店街のお店で販売している服を採用し、モデルも公募する。ファッションショーは、商店街で開催する「どえりゃアパレル祭り」内の目玉イベントとし、「どえりゃアパレル祭り」には地元の学生に模擬店を出店してもらう。地元の学生に参加してもらうことにより、中高年と学生の交流の場を作り出すことが出来る。ファッションショーは、お年寄りの原宿こと巣鴨地蔵通り商店街でも開催され、好評となっている。

3つ目は、「駅西銀座商店街のマスコットキャラクターを作る」ことである。近年、ご当地キャラが流行っているが、流行しているということは、宣伝効果など様々な

効果があるのだろう。駅西には、専門学校が多くある。専門学校の生徒にお年寄りが親しみを感じられるキャラクターを考えてもらい、地域住民、名古屋駅利用者、駅西利用者が投票して決定する。また、キャラクターが人に近いものであれば、商店街で販売している服を着せたら、さらに宣伝効果が増すだろう。

以上、3つの案を実行することにより、「中高年ファッションなら駅西銀座」と言われるような商店街を作り出す。そして、中高年と地域学生の交流の場も作ることで、地域活性化を目指す。

3. 安全、安心、明るい地区へ

平日、休日問わず大勢の人で賑わう名駅。人の流れは駅東（桜通口）側に集中している一方、駅西（太閤通口）側は、昼時にもかかわらず人の流れがまばらで、薄暗い雰囲気がある、道幅が狭い、とても人が安心して歩ける環境が十分に整っていない。そこで、足を運びやすくなる明るい工夫をして駅西銀座まで人が往来できるようにし、人の流れが名駅から名駅ではなく、名駅から中村区役所前駅になることを提案する。

1つ目は、駅西側の通りはシャッター街化しているため、本来の明るさを取り戻すために「脱シャッター街」を目指す。店がオープンしていれば、明るく感じる。歩道に設けられている屋根にきれいな彩りをつけるなど、ペンキを用いてカラフルなイメージにがらりと変化させる。また地域コミュニティを作り、普段地域交流をすることが少ない方にも人と人とのつながりを再認識してもらう。そして地元住民同士による意見交換を通して、市民が地域活動に参加していることを意識させることを目的とする。

2つ目は、季節ならではのイベントの開催。通りを「フラワー商店街化」し、一年を通して四季折々の花で飾る。花壇を設ける。駅西銀座を何度も歩きたくなるようなプラスの面を取り入れることで、人の流れを円滑になるように活発化。また、夜の街のイメージを覆すために冬季限定で11月から3月末まで「駅西ウインターイルミネーション」を開催し、駅西の恒例行事にする。さらに、月1回愛知県の数多くの特産品や現在話題のB級グルメを扱った露店を開き、商店街に人を呼び込む。愛知県をよく知っている人、あるいはまだよく知らない人に、この地域の現状を考えてもらう機会にしてもらうことをねらいとする。

以上の3つを提案し、昼間の名古屋駅にしの集客数を増加させる。そして、地域活性化に繋がりたいと思う。



左：駅西の全景、朝8時。人通りの少ない様子。

右：ビックカメラ周辺の様子。

商店街活性化案『親子で行こう！商店街！』

愛知大学 経済学部 / 直井将也 大平嵩 小野田昇平 重田佑介 林直希

ねらい

職場体験は、そこで働いている多くの職業人との触れ合いや交流を通して、異世代とのコミュニケーション能力を高めるとともに、社会人としての基本的マナーや言葉遣いなどを身に付けることができる場でもあります。核家族化や都市化が進む中で、異世代との交流が減少し、あいさつができない、言葉づかいを知らない、コミュニケーションがうまく図れないといった若者が増えているという指摘もあり、これが高い離職率の一因となっている場合も考えられます。コミュニケーション能力や社会的スキルを身に付ける上でも、職場体験の果たす役割は大きいです。職場体験は、体験を重視した教育の改善・充実を図る取組の一環として大きな役割を担うものであります。特に、生徒の進路意識の未成熟や勤労観、職業観の未発達が大きな課題となっている今日、生徒が実際の知識や技術・技能に触れることを通して、学ぶことの意義を理解し主体的に進路を選択決定する態度や意志、意欲など、培うことのできる教育活動として重要な意味を持っています。子どもたちに、商店街店舗で販売などの職業体験に参加することで、商売の面白さ・それぞれの職業観を育ませ、次の世代の社会を担っていく子どもたちの成長に貢献します。また、商店街についての理解を深めさせ、商店街を「身近な存在」に感じてもらい、「未来の大人」の顧客確保につなげます。この良好な連鎖を商店街で生み出すためには、現在の商店街への主な来客層である高齢者・主婦以外の層、つまり、子どもの頃に商店街の賑わいを肌で感じている現在の子育て世代の商店街への回帰、また「未来の大人」の顧客確保により、商店街の活力感・賑わい感を上昇させ、「商店街に人が集まっているから見に行ってみようか」という雰囲気醸成することが欠かせません。

商店街が親子にとって「身近な存在」となって共に商店街に足を運んでもらうようになる第一歩としては、まず商店街に来て、見て、知ってもらうことが必須の条件になります。商店街の魅力を高め、たとえ最初は買い物をせずとも、まず足を運ばせなければなりません。「親子」に商店街を身近なものとして再認識してもらい、気軽に何度も商店街に足を運びたいくなる、楽しんでもらうための企画案を提案します。

『親子』で親しめる商店街づくりを目指してイベントを実施します。[①商店での職業体験] 及び「②はじめてのおつかい」では、子どもが実際に商店での販売等の体験を行なうことで、商店街を身近に感じてもらい将来の顧客確保につなげ、さらに親・祖父母を商店街に呼び込みます。更に「③ワンコイン商店街」を同時に行い、活気の相乗効果を生み出します。これにより、商店街への親近感・来客数・売上・リピーターを増加させ、にぎわいを創出します。

開催に伴うコスト

店舗は実際の店舗を利用する。宣伝費用やハローワーク設置等による運営費と、参加無料とする場合に、「商店街限定お駄賃」の原資が必要となります。

提案内容

実施イベント：親子で行こう！商店街！

①ちびっこ商店街（対象：小学校中～高学年）

子どもたちに、商店街店舗で販売等の職業体験を行なわせます。

- ・自分の希望する職業を自由に選択し、就職先では商店街の人の指導の下で製造・販売などの職業体験を行います。
- ・店舗で働いた賃金として「商店街限定お駄賃」を支給。その仮想通貨は、商店街で有意義に使用してもらいます。
- ・職種は、花・果物・文具・食品・雑貨・飲食店・パンなど実際に商店街に実在するもの

に加え、銀行・新聞社・テレビ局・ハローワークなど仮想の職種も設けます。

また子供たちは職業体験期間に多くのお客を呼び寄せるために子供たち自身がアイデアを出し合い商店街の活性化に貢献します。（たとえば子供たちが自分たちでポスターを作る）

②はじめてのおつかい（対象：小学校低学年）

小学生中・高学年の子どもには低学年の弟妹がいることが多いです。弟妹向けにもイベントを開催することで家族みんなが楽しめるようにします。実施内容はタイトルの通りです。

③ワンコイン商店街

イベント実施の際は、子どもと一緒に来た親・祖父母をターゲットに、各店舗に100円・500円均一コーナーを作り販売するワンコイン商店街を実施し、相乗的な集客・売上効果を生み出します。

効果

商店街への①親近感の増加②来客数の増加③売上の増加④リピーター増加
イベント終了後は集客・売上効果について商店街へ調査→報告書作成

右写真：現在の駅西商店街
高齢者の人が多く利用しており、若い世代の人が見当たらなかったです。

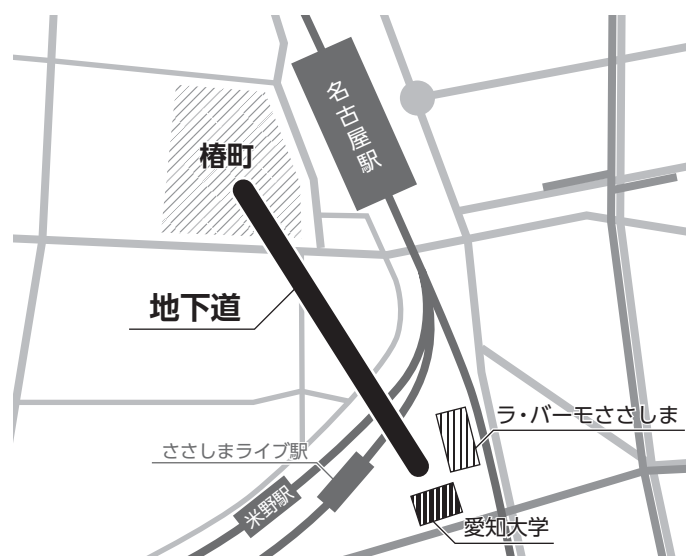


駅西の超短期的発展計画

愛知大学 経済学部 / 北川あや 橋詰智弘 浅井佑太 古山栄美 土屋菜未 中川さつき

まず、ハード面では笹島地区と名駅西地区に地下道を通します。出入り口は駅西銀座付近につくり、エスカとは繋ぎません。これは、学生や会社員を駅西に流れ込ませるためです。もし、エスカと繋げてしまうと、駅西を経由せずそのまま名古屋駅へ流れてしまう恐れがあります。しかし、エスカより西側に出入り口を設ければ、人の流れが必然的に駅西を通る形を作ることが可能となって商店街の活性化が期待できます。

現在の笹島地区は地下道が無く、愛知大学の学生は夏の暑さや冬の寒さに耐えながら徒歩で通っている人が多いのですが、地下道が出来れば多くの学生がこれを利用するはずです。また、この笹島地区は「ラ・バーモささしま」という集客力のある商業施設を有しており、今後は中京テレビの移転予定もあるので、商業施設のお客やテレビ局関係者の利用も見込めます。



そして、ソフト面では昼にウォーキングスタンプラリーを行い、夜にはTSUBAKInightを行います。神社や、映画館、飲食店、商店街と、地元の専門学生の協力を得て、駅西を知らない人に魅力を伝えたり、普段行っている仕事や発表を見せる場を作ります。

駅西地区には、大型映画館での上映が難しいマイナーな映画を扱う映画館があったり、飲食店の中でも特に居酒屋では東地区の高価な店舗よりも、立ち飲みスタ

イルで手頃な値段で気軽に楽しめる店が多いなど、あまり知られていない魅力や可能性が十分にあると感じました。そうした魅力を、ウォーキングスタンプラリーという形であれば、子どもからその家族、老若男女問わず幅広い層の参加が見込まれ、多くの人たちに知ってもらえる良い機会になるのではないかと考えました。このウォーキングスタンプラリーでは、来て頂いた方に 1 枚 500 円のスタンプラリー用紙を購入して頂きます。その後、駅西エリア全体に広がる店舗を回るウォーキングコースを回って頂き、コースを無事回りすべてのスタンプを押すことができれば、そのスタンプ用紙がビール券や映画館の割引券、夜に行う TSUBAKI night の食券になります。ここで言う TSUBAKI night とは、ウォーキングスタンプラリー後に開催される夜の催しです。これは、居酒屋をオープンカフェのようにしたり、屋台を開き、商店街全体をビアガーデンのような雰囲気にするにより、夜の駅西の新しい魅力を創り、伝えていくものです。



今回、私達は短期間での駅西の発展と、長期的な面での駅西の発展の両方から考えることにより、現状の改善とリニアの駅が完成してからの両方をカバーできるようにしました。リニアの駅が出来ることにより、より駅西地区の発展が名古屋駅周辺全体の発展に関与してくるものだと考えられます。そのためには、まず即効性のあるウォーキングスタンプラリーと TSUBAKInight による集客、および商店街の活性化、知名度の向上を図ります。その後、駅西地区から笹島まで続く地下トンネルの建設により、ウォーキングスタンプラリーと TSUBAKInight により獲得した客層に加え、笹島地区の商業施設利用 や、愛知大学生といった新しい客層を更に拡大していきます。そうすることにより、今まで以上に駅西地区が知れ渡られていくと考えています。

名古屋駅西地区だからできる町興し

愛知大学 経済学部 / 鈴木理紗 守田光宏 井口洋平 伊神優輝 長江拓哉

中小企業庁が行っている全国商店街実態調査において、「繁栄している」と答えた商店街の比率は毎回減少していることにみられるように、全国の商店街は、活気があるとはいえない状況にある。そして商店街の衰退の波は、同様に名古屋駅西口にも襲っている。名古屋駅西地区にある名古屋駅西銀座通商店街は、全国的な街の商店街より規模が大きい。しかし同じ名古屋駅西地区にある居酒屋を中心とした飲食店街と比較すると、商店街は活気も人通りも大きく劣っている。また名古屋駅東地区は近代的な建物が多いオフィス街で都会的な雰囲気だが、西口商店街は古い建物やシャッターが閉まっている店が多くあり、寂れた雰囲気がある。名古屋駅は東口を「表口」、西口を「裏口」と呼ばれることにもそれが表れている。名古屋駅西地区に人を引き付ける目玉となるものがないことが、一因だと考えられる。

そこで名古屋駅西地区をより魅力的にするために、名古屋駅西銀座通商店街に新しく魅力的な商店を取り入れることを提案する。商店街を目的とする人々を新たに創出することで西口を活気づけ、名駅東とは違う路線で名駅西を盛り上げていくことが目的である。

①名駅西口の古い町並み・国際性の豊かさをアピールする

他の地区と比べた名古屋駅西地区の特徴として、昔の建物が数多く残っており独特の昔懐かしい雰囲気を醸し出していることがある。また昔からコリアンタウンが存在し国際性豊かな様々な人々が暮らしている。

上記より商店街を新しくするにおいて名古屋駅西地区を特徴付けられるアイデアが二つ考えられる。一つ目は古い建物を敢えてリフォームして商店として使い、昔ながらの景観を保ちながらも新しい物を創造することである。これは今の商店街を一度壊して建て直すよりも費用削減になる。二つ目は、コリアンタウンのおかげで名駅西地区は国際色を発揮しやすい環境だという点だ。今現在も商店街には韓国食材店や焼き肉店など、国際色豊かな店がある。

これらの名古屋駅西地区の特徴を生かした商店を誘致することにより、昔の叙情性を持った国際色豊かな街として顧客にアピールすることができる。名古屋駅西地区の特徴を大きくアピールすることによって、他の地区の商店街との差異化を図る。

②アイドルやアニメなどのサブカルチャー資源を生かした商店街

2012年4月に名駅西地区に「Delightful Enchanting Lovely Angels（ディライトフル エンチャントング ラブリー エンジェル）」というアイドルユニットが新たに誕生した。「d e l a（デラ）」というアイドルも名駅西地区を拠点に活動している。今後これらのアイドルを応援するため多くの若者が名駅西地区に来店するはずだ。

いまの銀座通商店街には若者が興味を持ちそうな店が少ない。そこで若者を銀座通商店街に呼び込むため、銀座通商店街一体でアイドルを応援することを提案する。

例えば銀座通商店街でアイドルグッズを売り、多くのファンを呼び込む。銀座通商店街は駅から近く交通の便が良い。そのため銀座通商店街でアイドルの握手会やライブなどのイベントを行うことが出来れば、多くの観光客を名駅西地区に呼ぶことができる。そのためには、駅西に専用事務所と銀座通商店街の交流が必要だろう。

また、名古屋がアニメという観点から注目されている街であることも生かしたい。名古屋はTBS「電波女と青春男」やフジテレビ系ノイタミアの「うさぎドロップ」などの人気アニメの舞台になった。

アニメで描写されたシーンを熱心なファンが訪れる「聖地巡礼」という現象があり、毎年何十億の経済効果を生み出している。そこで私たちは名古屋を「聖地巡礼」がしやすい街としてアピールしたい。

そこで名古屋を舞台にしたアニメ作品のグッズなどを売る店を銀座通商店街に出店させたい。アニメ専門店のお店である「アニメイト」が名古屋駅から銀座通商店街までに2店舗ある点もアニメファンを名駅西地区に呼びやすくしている。

アニメは日本が誇る文化であり、海外にも多くのファンがいるので海外からの観光客も顧客として獲得できるだろう。名駅西地区はアニメの専門学校や「アニメイト」があることでサブカルチャーの発信地と呼ばれているので、銀座通商店街にもサブカルチャーを取り入れたい。

③名古屋の特徴的な食文化を銀座通商店街でアピールする

既に名古屋めしとして全国的に知られている、世界の山ちゃん、矢場とん、スガキヤラーメンなどの有名な飲食店を銀座通商店街に誘致することを提案する。名古屋めしで有名な飲食店を目玉として、全国的に知られていないが非常に魅力的である名古屋めしの飲食店も出店させたい。(味噌煮込みうどん、ひつまぶし、きしめん、小倉トースト、どて煮、ベトコンラーメン、あんかけスパゲッティ、イタリアンスパゲッティ、味噌おでん、味噌カツ、手羽先唐揚げ、台湾ラーメン、天むす、モーニングサービス中京式、八丁味噌、溜り醤油、名古屋コーチン、かしわ鶏肉、カレーうどん、マヨネーズ入りの冷やし中華など)より多くの人を銀座通商店街の飲食店に呼ぶためにさまざまな催しを定期的に行う。例えば銀座通商店街の飲食店のコラボレーション企画として、「N-1グランプリ」を開催する。各店オリジナルの限定メニューを販売しお客様からの投票を行い、ナンバーワンに決定した店舗に投票した来場者には抽選でプレゼントを贈られるようにするものだ。また外国人観光客を呼ぶために、外国の方向けのメニューや外国の方限定特典を付ける。そのことにより、外国人観光客を顧客に取り入れ、また名古屋の食文化の外国への宣伝にもなる。

名古屋や名古屋駅西地区には、魅力的な独自の文化が多く存在している。名古屋駅西地区にある銀座通商店街でその文化を発信し、文化の発信と銀座通商店街の活性化を図りたい。

名古屋まちづくりアイディア

高知工科大学 マネジメント学部 / 鈴木くみこ 須藤祐二 大坪千倫 岡本和真 椿原はる菜 増原未来

- リニア新幹線乗り入れ後のまちづくり (B) -

まず大きなテーマとして、「B. リニア新幹線乗り入れ後」に着眼点を置いてアイディアを考えました。リニア新幹線乗り入れ後は観光客が増えると考えられますが、せっかく増えた観光客を逃さないような街の雰囲気づくりが必要だと思います。そのためのアイディアを、「G. 駅西銀座商店街の活性化」「D. エスカの魅力向上」の2つに焦点を置いて提案します。

そして各テーマの最後に、「その他気付いた点」として、実際に足を運んでみて気になった点を述べます。

1. 駅西銀座商店街の活性化 (G)

ここでは「A. 駅西地区で起業するなら」「H. アニメやアイドルなどのサブカルチャー資源」の2つに観点を置きました。

1-1. カフェを開く (A)

廃れた駅西銀座を活性化させるために、閉められたお店の外観を残しつつ改装し、レトロ風のカフェを開きます。レトロ好きの若者や落ち着いた時間を過ごしたいお年寄り・親子連れをターゲットとし、メニューに昔の給食を提供したり、インテリアとして昔のおもちゃを飾ったりします。居酒屋の多い商店街の中に、そういった人たちが足を踏み入れやすい場をつくることで、人が訪れるようになり商店街が華やかになるのではないかと思います。

1-2. 商店街でオタク祭り (H)

駅西銀座を活性化させるもう一つのアイディアとして、名古屋駅前から西地区への人の流れを作るために商店街で祭りを開催することを提案します。駅西地区では、アニメイトが賑わっており、オタク向け商品が多く見られました。そこで、駅西地区にしかない祭りとして、アニメ好きのオタクをターゲットとした豪華でコンスタンスなオタク祭りにします。その内容は、フリーマーケットならぬオタクマーケットや、オタクが参加するカラオケ大会を開催するのはどうでしょうか。さらに、その祭りに名古屋のご当地アイドルによるパフォーマンスも取り入れると、メディアによる駅西銀座の広まりも期待できるのではないかと思います。

1-3. その他気付いた点

駅西地区は駅表とは対照的に、駅裏として下町のような温かみのある区域で統一させるのはどうでしょうか。また、商店街の歩道に屋根があることでさらに雰囲気の暗さが増していると考えられるため、屋根を取り払って解放感を出すのも一つの案だと思います。

2. エスカの魅力向上 (D)

ここでは、観光客から見たエスカの利用のしやすさに観点を置いてアイデアを提案します。

2-1. エスカ全体の地図

次の二つの提案があります。

①エスカ全体の地図

エスカは並んでいる店の種類がバラバラでどの店がどの辺りにあるかということが分かりづらかったです。それを一目で分かるようにするため、店を種類別に色分けした地図をエスカ出入り口の床に描くことを提案します。

②エスカ全体の地図

エスカに駅西地区全体の地図を描くことです。観光客がエスカに止まってしまうないように、エスカより先に進むと何があるのかがはっきり分かるようにすることを提案します。

2-2. フードコートをつくる

エスカには飲食店が多くありましたが、中に入れず並んでいる人も多かったです。そこでフードコートのように、飲食店で買ったものを店外でも食べることができる場所を設けることで、店の回転率が上がると考えられます

2-3. その他気付いた点

店の並びに関して、土産物屋は出入り口付近に持ってくるのが良いと思いました。また、名古屋駅が0時まで開いているのに対して、エスカのお店は閉店時間が早いように思いました。

Friends Box

大同大学 工学部 / 佐合孝文

- 主旨 -

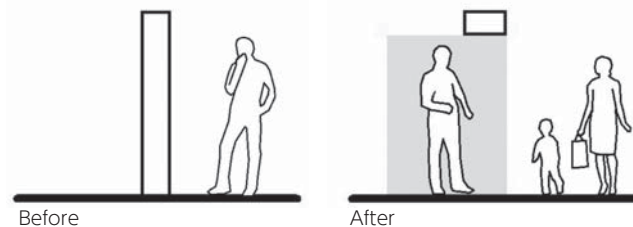
住んでいて楽しい街には必ず話ができる知り合いがいる。お年寄りが子供と住まず一人で暮らしていることや病院に通いがちになるのも、そこに話し相手がいるからである。知らない街に行くと話し相手はおらず、街には自然もなく庭先の飼い犬も静かに寝ておりつまらない。そんなつまらない街に住むことで、家に引きこもりがちになってしまう。

駅西に駆け出しのデザイナーやクリエイター、自分で店を持てたいという人々の最初の一步を踏み出す場となる SOHO や店をつくる。SOHO や店を営む人々にとって名古屋駅が近く、さまざまな仕事が多く存在する地区であり、街に密着した仕事をしていき顔を覚えてもらうことで仕事が増えていく。

街に密着した仕事をする人たちと知り合いとなり、そこで会話が生まれ友人となる。自分の興味の湧く面白い商品があり、街に出ることが楽しくなる。そんな自分だけの特別な「BestPlace」を発見することができる。

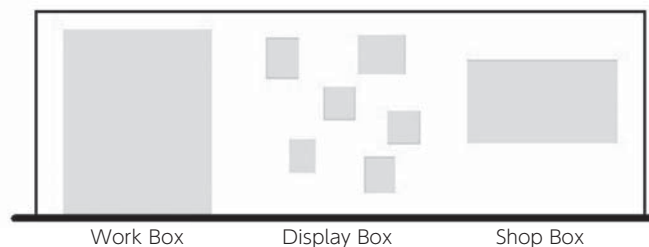
[BOX 提案]

駅西の住宅街に小規模なガラス張りのSOHOや店となる「Friends Box」をつくる。「Friends Box」は塀に埋まっており楽しい街並みになる。



[BOX バリエーション]

「Friend Box」には用途によって様々な種類がある。埋まっているボックスの違いで塀の雰囲気が変わる。



駅ちかアニメ村

大同大学 工学部 / 小林成彰 ほか

私たちの提案

私たちの提案は名古屋駅西口～エスカ～駅西銀座へと動線を結ぶことです。

サブカルチャーの一大拠点として、駅西銀座の地下を取り入れたビジネスストリートで構成された、サブカルチャー通りを提案する。このように集積させることにより共通の趣味を持った人たちの交流の場としても提供できる。

また、ビックカメラ名古屋駅西口店さんの近くを通るエスカの地下道を伸ばし、駅西銀座までの地下のストリートの新設する。

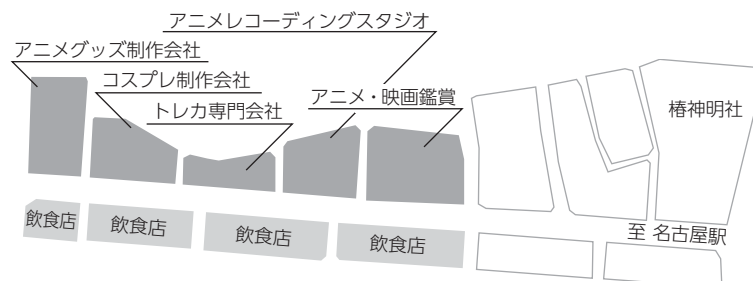
名古屋にアニメストリートを作る理由

名古屋というのは、全国の駅の乗降者数で第6位である(2008年)。ここで、なぜ名古屋なのかというと、アニメ関連の会社は様々な所に点在しているが、主要な駅の徒歩圏内やそばには少ないのである。

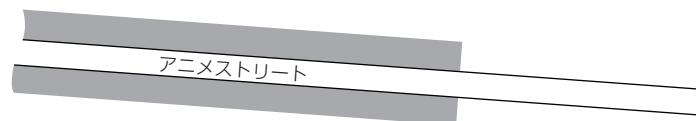
そこで、私たちは日本の三大都市である名古屋の駅西銀座という場所に目を向けた。私たちは、アニメを通して、また駅西に活気があふれるものだと考える。

駅ちかアニメ村 地図

・地上



・地下



- アニメストリート
- | | |
|---------|-------------|
| ・アニメグッズ | ・カード |
| ・メイドカフェ | ・服 |
| ・コスプレ | ・パチンコ |
| ・CD,DVD | ・ゲームセンター |
| ・本 | ・ゲーム etc... |

暗いナニカから明るいナニカへ

大同大学 工学部 / 小林成彰

- 計画 -

椿神明社は拝殿から本殿が見えにくい。それは葉が厚く緑の濃い照葉樹の木が囲っているからである。だから本殿は昼も暗く、ナニカが潜んでいるような様相を感じる。またここを参拝する人は少なく居座り飲酒をする人や生活の場としての利用をする人等招かれざる人たちしか来ないという印象を受けた。その原因はこの場所に明るさが足りてないからだと考えられる。よって私はこの場所に明るさをもたらし、良いナニカが存在し駅西を歩く人がそのナニカにあやかりを求め参拝していく場所に変える事を計画します。

その方法として神社全体を葉の薄い落葉広葉樹にすることを提案します。落葉広葉樹に植え替える事で、神社から暗い所を無くし、迷惑行為の抑制をはかることができる。また日本の神社に多い瑞垣で本殿を見えにくくするという手法を廃し、もっと本殿を見やすいものとし、良いナニカを身近にしていこうという方法もあってよいと考えました。



写真 1



写真 2

写真 1 をみると端垣は細い柵でできており、ただ人が入っていかないように建てたと思われる。よって、この柵を廃しまわりの木を写真 2 のような落葉広葉樹に変える。

視守り隊

大同大学 工学部 / 飯田佑翔



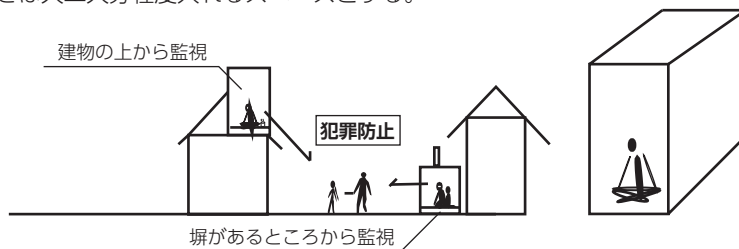
提案内容

名古屋駅西は風俗店やひと気のなさから、未成年や女性が歩くには危ない場所である。そこで監視ボックスの設置を提案する。暗い路地裏などは、未成年者や女性が犯罪に遭う確率が上がる。市民を犯罪から未然に防ぐ必要があるのだ。

監視ボックスとは、誰でも利用することができ、休憩・雑談などが可能である。路地裏などに設置することで、常に人の気配、視線を感じられる。そのため、犯罪の抑止力効果は大きく期待できるのだ。

犯罪が起きた場合は、ボックス内の警報ボタンで最寄の交番や警備員に知らせることが可能である。犯罪の早期発見、解決を可能としているのだ。

夜間は明かりを点灯することで街灯の役割を果たし、視界の悪さを解消するのである。設置方法は、ボックスを建物の2階以上や塀に埋め込むような形で設置し、大きさは人二人分程度入れるスペースとする。



すいふよう

大同大学 工学部 / 福井秀彰

- 計画 -

駅西銀座商店街は、名古屋駅からも近く交通の便としては、公共交通 機関を主として考えた場合かなり条件の整った立地となっている。また今 現在では、各種販売店、飲食店等々、様々な種類の店舗が存在している。それらには、昔ながらの店舗や国際色の強い店舗など、そこにも多くの多様性が存在している。

それを踏まえて、提案したいのは、そもそも商店街とは、国語的意味では、商店街(しょうてんがい)とは、商店が集まっている地区をいう。また、地域の商店主の集まりを指す場合もある。(Wikipedia 参照)とあり、実際に自分で主観的に捉えてみても、様々な店舗が軒を連ねる、そういったものである。その性質上、商店街には昼の顔、夜の顔というものできてしまっている。



シャッター街となる昼の顔



繁華街となる夜の顔

そのため夜は賑やかな区間、逆に昼は賑やかな区間等が存在している。それは営業時間や営業形態の違いから仕方ないのかもしれないが、そこ に一つ工夫を凝らしてみたいと考えた。それは SOHO の考え方から発想 したものだが、例えばこのように飲食店の壁やガラス扉の中のスペースを利用して、自転車店を入れてみる。大衆的な自転車店ではなく、逆にプロショップの様な専門店や趣味の部分が強いような店舗の方がスペースの都合上好ましいと考えるが、メインとなる店舗 の営業の邪魔にならぬように、メインの店舗の営業時間の逆になる店舗の主張・広告スペースとするのである。



cafe の壁に掛けられた自転車

またスペースは例えば、店舗前に椅子を一脚おくだけでもいいかも知れない。そこに何か若手クリエイターの作品を並べてみる

例えば、昼間の bar の店前を利用して、地域コミュニティのサークル等による演奏会を開いてみてもいいかも知れない。



洋服店の前に置かれた椅子



barの店前で開かれる演奏会

このようにして、人々の暮らしの中にいきづく商店街を配置してみることが今回の提案です。

※すいふう（水芙蓉）とは朝と夕とで、花の色を変える花であり、その花と街とを掛けて提案タイトルとしてのイメージとした。

コットンローズ

大同大学 工学部 / 飯田佑翔

< 提案 >

名古屋駅西の銀座通りを利用して、食事と飲み屋が融合した商店街を提案する。この提案の最大のポイントは、一つの建物に二つの店が入ることだ。朝から夜までは名古屋めしを、夜から翌朝まではお酒を提供する店とするのである。時間によって店の色が変化するのである。

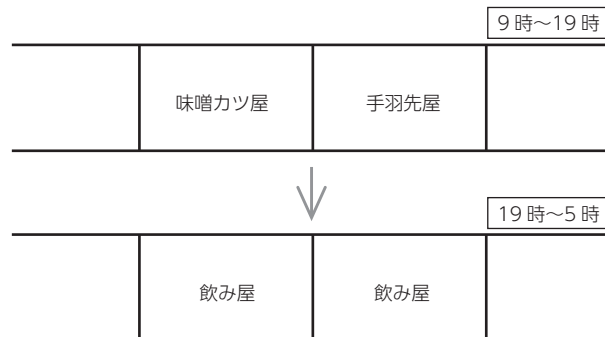
< 提案理由 >

名古屋には、「味噌カツ」「手羽先」「きしめん」「ひつまぶし」「ういろう」など誇れる食文化が存在する。名古屋めしを味わうことができる店を銀座通りに集めることで、駅西に足を運ぶと名古屋めしを制覇することが可能になるのだ。

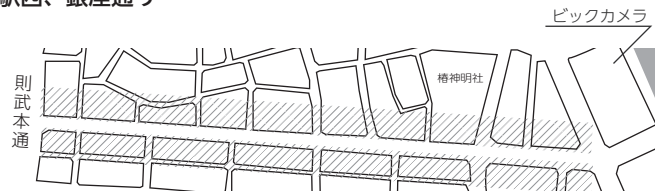
駅西には、多くの風俗店が店を構えているために治安の悪さが心配される。また、年配の方が目立つため、活がないような印象を受ける。

そこで昼間は、年配の方に店を切り盛りしていただき、地域の活性化に協力していただくのだ。若者も家族も足を運び、夜には仕事帰りの人たちにも好まれる大衆居酒屋に変化することで、昼も夜も人が入れるにぎやかな地域になるのだ。

夜には店が変わるという話題性のある商店街となり、多くの来客が見込めるのである。



名古屋駅西、銀座通り



アニメの聖地「ツバキ」の形成と リニア開通による「アキバ」との春秋連携

名古屋学院大学 経済学部 / 江坂健 大西了 古閑光将 高柳葵 船橋弘樹

(1) 駅西地区の現況

私たちは縁カレッジに参加して駅西の現状を視察した。これは名駅エリア全体に言えることだが、名駅は中部地方の陸の玄関口であるため、人の流入が多い。また主要施設や量販店、デパートが集積しているので、地元の人々も多く利用している。駅西地区の特徴として、名駅側の大通りにはアニメイトやビックカメラ、予備校や専門学校があるという要因から、多くの若い人達が集まってきている。しかし、駅西銀座の商店街の方に人が流れていかないため、閉鎖された店舗が多く、全体の印象として暗くて寂しい雰囲気がある。また風俗店の客引きやお店が怖い印象を与えていて、風俗店街（ビックカメラの北側のゾーン）にはそれを目当ての人しか来ていなかった。駅西銀座の北と南に広がる住宅街は静かで駅や病院、区役所から近く住みやすそうであると私たちは感じた。

駅西の風景



集客力のあるアニメイト



閑静な住宅地の美しい草花



アニメ関係機能の厚みを増す
代々木アニメーション学院

(2) いくつかの問題点

問題点としては、上記でも取りあげた通り、人の流れが大通りで止まっていて、駅西銀座商店街の方面に流れていない。そのせいか昼間の商店街は閉じている店が多く、暗くて寂しい雰囲気がある（なお、夜間は居酒屋等の飲食店が名駅に近いほど多いため、にぎわいを見せているが……）。その他、公園にはホームレスも居た

ため、子供たちを自由に遊ばせられない雰囲気もある。さらに街灯や信号が少ないため安全面でも問題がある。

上記の問題点の中で一番問題なのが、駅西銀座商店街ににぎわいが無いことである。にぎわいを取り戻すには、若い人を駅前の大通りから駅西銀座商店街の方に引っ張っていく必要があると私たちは考えている。

(3) 駅西地区のまちづくり展開

① アニメの聖地「ツバキ」の形成

駅前の大通り沿いの商業地区をサブカルチャーの聖地とすることで若者に魅力を感じてもらう。具体的にはアニメ関連の店舗を集積させていく。現状ではアニメイトやメロンブックスやらしんばんなどのアニメ系店舗や代々木アニメーション学院(専門学校)があるが、さらに多様なアニメ系店舗の導入を図ってアニメの聖地「ツバキ」(仮称)を形成していくものである。「ツバキ」は所在地の「椿町」から命名し、「アキバ」と対比するためにカタカナにしている。商業地区の北にある風俗店などは、小規模なアニメ関連店舗を入れることにより、風俗店を減らし、怖いイメージを払拭させる。いわば風俗の「性地」からアニメの「聖地」に変貌させていく。リニア新幹線の開通でその周辺は大きく変貌する可能性がある。それを通じ、「ツバキ」と「アキバ」が繋がりがやすくなり、「春秋」連携を目指す。

アニメのイベントやdelaなどのアイドルイベントを行う。そのためには椿町内の道路を閉鎖し、ステージ化させ、将来にはさらに北に延長する。これによりビックカメラやアニメイトなどの店舗と合わせてサブカルチャーの街にする。

※「春秋」連携とは、「椿」の「春」と「秋葉原」の「秋」をイメージして名付けた。

アニメショップ一覧表

	店舗規模	主な展開	主な種類	出店場所
アニメイト	小～大	主に公式	書籍・DVD・ゲーム・グッズ	駅西・金山
とらのあな	大	公式・非公式	同人誌・グッズ・書籍・DVD	栄
まんだらけ	中～大	中古	トレカ・レトログッズ・書籍 ゲーム・フィギュア・DVD	大須・栄
ゲーマーズ	小～大	主に公式	書籍・DVD・ゲーム・グッズ	大須
メロンブックス	小	成人向け	書籍・同人誌・DVD・ゲーム	駅西

編集 船橋弘樹

※書籍は商業本のことであり、漫画・ライトノベル・雑誌などのことである。

※店舗名が正式のものと異なる場合がある。

※これは編集者の視点で作られているため、事実と異なる場合がある。

※店舗規模は名古屋の主要店舗のことであり、全国的なものとは異なる場合がある。

②駅西銀座のコミュニティ道路化（平日）とモール化（週末）

駅西銀座には現在の特徴でもある居酒屋等の飲食店の多様化を図る必要がある。駅東とは異なる比較的廉価な価格帯の飲食店を集積していく。

商業地区だけでなく駅西銀座では個人経営のサブカルチャー要素の強い店舗を増やす、それ以外にも若者だけでなくお年寄りも楽しめる和菓子屋やレトロな雰囲気、の駄菓子屋、ゆっくり出来る喫茶店などを作り、若者と地域のお年寄りが触れ合える商店街にしていく。そのために、平日は車のスピードを落とさせるコミュニティ道路化を図り、土日や祝日などは、車を通行止めにしてモール化にしていく。車道でフリーマーケットや若者が楽しめるイベントなどを行い、駅西銀座の商店街側と駅前の商業地区側で提携し、イベントやキャンペーンなどを合同で行うことが大事になると私たちは考える。



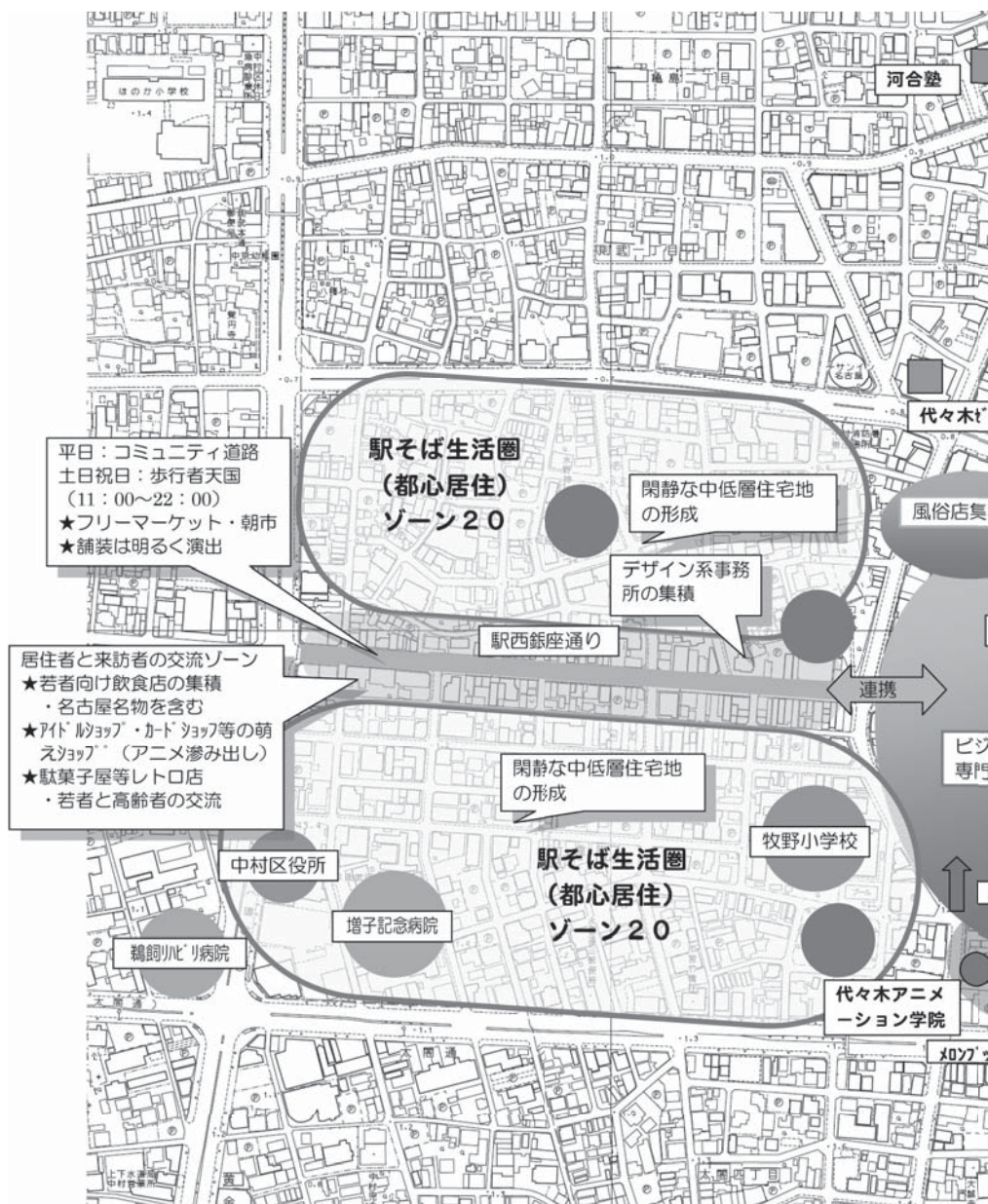
コミュニティ道路のイメージ（愛媛県松山市）

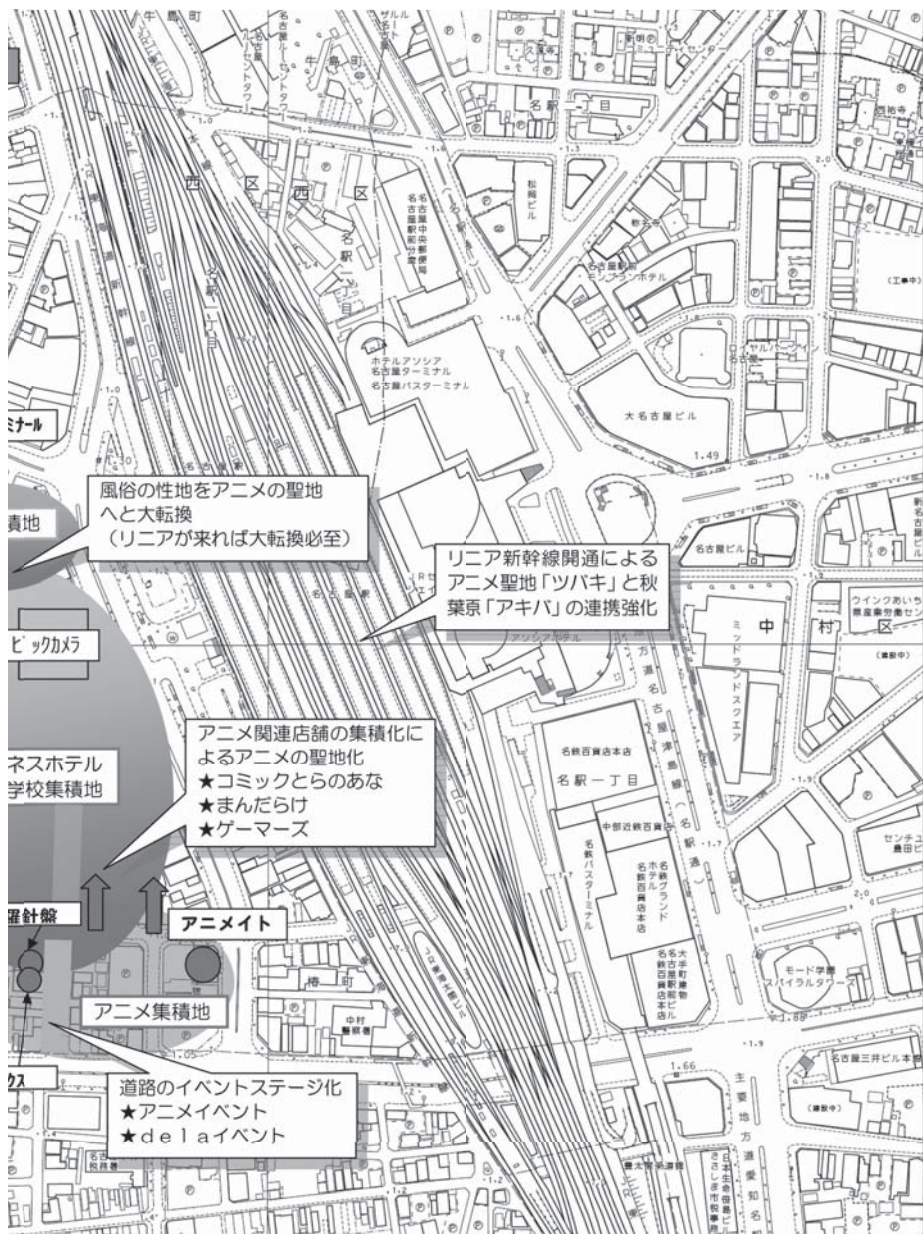
③駅そば住宅地

周辺に広がる住宅街は駅や区役所、病院、学校などの施設も近くにありながら、閑静な住環境を有するので、駅そばのコンパクトシティ形成の典型的な地区として位置づける。後は防犯面（街灯の設置）や事故の起こりにくい環境（例えば制限速度を20km以下に抑えるゾーン20）を提供するなど、安心や安全を取り入れていけばとても住み良い環境であると私たちは考える。住宅も駅東との対比として中低層住宅を想定している。子供やお年寄りにも住みやすい住環境を担保していく。

このような地区の基本人口を増加させていくことが、街の活力の基礎体力をつけていくことになる。

アニメ聖地「ツバキ」の形成と春秋（ツバキとアキバ）の連携





駅西のいまとこれから

名古屋学院大学 経済学部 / 江坂健

今回、私が駅西を視察して気付いた点は駅西がアニメなど、サブカルチャー分野が充実していて、その地域が賑わっていた点だ。しかしこれらの流入性が高いと思われるエリアは駅西大通り沿いのほぼ固定的なエリアでのみしか表れておらず、駅西銀座商店街などにはほとんど人が流れていなかった。

そのため駅西銀座商店街にもアニメ、サブカルチャー系の店舗を設置し駅西大通りと銀座商店街を結ぶ動線ができれば商店街も活性化するのではないかと考えた。

例えば駅西アイドルdelaをもっとPRすることにより駅西の知名度も上げ、土日、祝日などにはdelaのイベントを銀座商店街などで催しても面白いと考えた。ただ、それだけでは年齢層が限定的で偏りがあるためカフェや喫茶店も設置しお年寄りにもゆったりできるスペースをつくる。さらに駅西銀座通りのレトロな雰囲気を活かして昔ながらの駄菓子屋や、宮崎アニメ（ジブリ）などを取り扱う店舗もあったらいいのではないかとと思う。

このような老若男女が一体となって地域活性を目指す、それがこれからのまちづくりに求められていると私は思う。

中部圏の秋葉原へ

名古屋学院大学 経済学部 / 船橋弘樹

私は駅西を視察して思ったことは、駅西銀座商店街は昼間なのに人が疎らで閉めている店舗が多い。しかし名駅側の大通りには人が多く、特に若い世代の人が多くいた。その若い人たちはビックカメラさんやアニメイトさんを利用していることが多かった。

このことから私が考えたことは駅西全体でサブカルチャーの街にすることである。具体的には大通りの商業地区に大手アニメショップを誘致し、その北側にある風俗店の入っている場所に小規模や個人経営のアニメショップに入ってもらい、風俗店に出て行ってもらうことで風俗店特有の客引きやお店の怖さを無くし、商業地区全体でアニメショップの町とする。また駅西銀座商店街の空き店舗を利用し、今も何件かあるアイドルショップやカードゲームのお店のようなサブカルチャー要素を含むお店を多く展開し、若い人に魅力ある商店街と認知してもらう。あと土日や連休などには車道を通行止めにし、アニメやアイドルなどのイベントや割引キャンペーンなどを商業地区と商店街が合同で行い一体感を出す。

上記のような活動により駅東（高級な感じ、ハイカルチャー的要素）と差別化を図り、駅西全体を『中部圏の秋葉原』のような街にする。以上が私の考える駅西活性化である。

駅西銀座通りの再開発

名古屋学院大学 経済学部 / 大西了

私は10月にゼミで名駅西地区を舞台に縁カレッジに行かせて頂きました。名駅西地区は東側に比べて古い住宅街が多い反面風俗街や居酒屋などがありその土地に用事がない者は正直近づき難いイメージがある。また駅西銀座と言う商店街は廃業したお店が多く俗にいう「シャッター通り」状態になっており町全体が暗い。

そこで提案だがこの駅西銀座通りをコミュニティ道路化して車を通りにくくし歩行者や自転車など誰もが安心して通行できる道路にしてはどうだろうか？

まず道路自体がアスファルトの暗いイメージがあるため再塗装しドライバーに危険を促す塗装をする。また一方通行化にしても良い。また店舗やアーケードもさびれておりパステルカラー塗装にして全体で明るいイメージを出す。

そして今回最大の提案は土日の朝に車の通行規制を実施し、中村区のフリーマーケットにしたはどうだろうか？

駅西地区以外の中村区の方を中心に出店者を募集し1日オーナーをしてはどうだろうか？勿論フリマの開催は毎週ではなく月2位が良いと私は思う。何故なら市を頻繁に開催すと人々に飽きが来るからである。

近年京都市北区の上賀茂神社や左京区の知恩寺で住民が主体となっている「てづくり市」が開催されている。これは地域住民が観光客主体の京都で住民主体での行事がない事に危機感を感じ住民自らが行動したものである。結果大好評で毎回京都市内や周辺の町から多くの方が足を運んでいる他参加者希望者も多い状態である。

もし名駅で実施するなら地元商店枠と住民枠の2種類用意し、前者は中村区のお店を、後者は参加希望者を中村や西区を優先に募り価格設定も自ら行い販売、またJAなどにも協力してもらい新鮮野菜を販売するののも一つの手である。早期の開催を期待したい！！

活気あふれる街へ

名古屋学院大学 経済学部 / 古閑光将

今回の、「縁カレッジ」で、初めて駅西という地域を散策しました。今まで名古屋といえば、駅前の、人が溢れ、高層ビルもいくつかある、まさに「都会」というイメージしか持っていませんでした。名古屋の人々が、まちづくりや地域の活性化について思案しているということに、恥ずかしながら少し驚いてしまいました。

街を歩いて、最も印象的だったのはシャッターの閉まった店の多かった商店街でした。「過疎化の進んだシャッター街」というものについては、今まで、講義や、自分の住む町で知っていたつもりでした。しかし、一部の問題だと思っていたこの現象が、どこの地域でもありふれた、切実な問題であり、また、どこの地域でもそうになってしまう危険性をはらんだものなのだと気づかされました。

そんな商店街を、ひいては街を活性化させるには、サブカルチャーが重要な役割を持つと考えています。世界でも多くのファンを獲得している日本のアニメーション、アニメと地域の協力によって、まちおこしに成功している例が数多くあります。そして日本のアニメはまだまだ伸びると考えています。駅西にはすでにいくつかのショップが入ってきています、これらに続き、様々なアニメ関連の文化を取り入れることで、活気あふれる街になっていくと、そう思います。

駅西のこれから

名古屋学院大学 経済学部 / 高柳葵

駅近くと商店街の違いが明確になっていて、郊外の方にある公園は、休みなのに子供の姿がないため必要性を感じなかった。商店街の老舗の営業時間をもう少し長くすれば商店街の方にも人が行くようになるのではないのかと思います。駅の近くは人が多すぎるためにもう少し幅の大きい歩道が欲しいと私は思いました。あのままだと車道を歩く人が多く出ていました。

駅西にはお店があり「アニメイト」や「デニーズ」などほとんどが若者向けのお店が多いためその周辺はもう若者向けの町として確立していき、そのお店の周辺には予備校や専門学校があるので、そういった若者を狙ったお店（安くて美味しい定食屋やゲームセンター）を増やしていくべきだと思います。この周りにはアニメやゲームショップなどがあるのでゲームセンターを作って人を長くとどませ、お昼に安く食べられるお店を増やしたほうがいいと思います。あとビジネスホテルは居酒屋よりにして作っていけばその大通りには「サブカルチャー」の町として大々的に取り上げていけばいいと思います。そして今の居酒屋などの商店や居酒屋を多くして、居酒屋とビジネスホテルの通りにすればいいと思います。

講評

愛知大学 経済学部 / 栗原裕教授

産官学が参加主体である「縁カレッジ」の存在価値は高いですが、今回のテーマである「まちづくりワークショップ」での取り組みの特徴として、「民」に加わっていただけたことが挙げられます。年齢や所属・属性が異なる方々が、集い、歩き、共に語り合い、提案をまとめるという、画期的なイベントも開催できました。名古屋駅周辺のまちづくりに関する、各協議会・研究会を代表される方々に加え他県からもご参集いただいたことも有意義でした。学生の皆さんには、経験を通じて課題を発見し、確認し、ときにコミュニケーションをとり、解決策を見出していく、貴重な機会となりました。

一方で、課題の存在や限界を感じたかもしれません。グループの作業では、多様な考え方、価値観があることも認識したことと思います。主体的、意欲的に取り組む組織の中でコンセンサスが得られたとしても、合意形成に至るには困難も伴うでしょう。しかし、全員が主役です。関係者間で自尊と協働の調和を図り、実践することで、良き街づくりに一歩前進していくことを願っています。

大同大学 工学部 / 笠嶋泰教授

研究室のゼミ生を募集する折に、このイベントへゼミとして参加していることを紹介しています。学生の応募用紙の中に、「このイベントに参加し、他大学の学生と交流できること」を応募理由とする学生が毎年数名います。このイベントが、学外の社会人との交流の場であるばかりでなく他大学の学生との交流の場としても期待されていることは、私にとって意外なことでありました。しかも、それが楽しみとされているのですから、今後もこのイベントを発展させ、継続されていきたいと思います。

今年も、ゼミ室応募用紙の中にこのイベントへの参加を記述した学生が数名いました。また来年もゼミ生と一緒に参加したいと思う一方、想像以上に期待されているようなので、来年は3年生も参加できるようにしたいと思っています。

名古屋学院大学 経済学部 / 井澤知旦教授

なごや縁カレッジで、学生が大学学舎内の机上だけでなく、現場に出て、他大学の学生と一緒に歩き、学ぶことは、大変刺激となり意義深い取り組みであると考えています。今回のまち歩きのフィールドとして駅西地区が取り上げられましたが、そこには編集素材（サブカル、アジアン、ビジネスホテル、リニア、商店街、食、低層建築……）が多様にあるがゆえに、提案内容も、学生ならではの視点を持って語られ、そこに多様性が見られ、コピー＆ペーストではない、独自の語り口がそこにあります。

参加大学・学生

愛知大学

- ・北川あや 橋詰智弘 浅井佑太
- ・鈴木理紗 守田光宏 井口洋平 伊神優輝 長江拓哉
- ・池村祐子 梅本健太郎 加藤雅裕 岸勇斗
- ・直井将也 重田佑介 小野田昇平 中馬里帆

高知工科大学

- ・須藤祐二 大坪千倫 岡本和真 鈴木くみこ 椿原はる菜 馬場博之 増原未来

大同工業大学

- ・飯田佑翔 芥川建斗 石井隆紀 川邊勇佑 後藤大次郎 小林成彰 西村真由子
佐分浩一 関谷圭右
- ・佐合孝文 稲山圭太 福井秀彰

名古屋学院大学

- ・赤田齊昭 江坂健 大西了 古閑光将 高柳葵 船橋弘樹

名城大学

- ・中村純基 安田寛弥 小林大介 清本亮太 宮内祥伍 相京優希 河野圭亮 扇田晋行
松山浩之 脇田康弘

ナゴ校

- ・西村翔平 玉城明里 富田貴大 安田有希 犬飼典恵 久野愛理 柴田将成 福重茉友

あとがき

名古屋駅周辺はリニア新幹線の開通によって街が大きく変わると予想され、大勢の期待も膨らみ、ワサワサワサワサ・・・何となくざわめいています。

そこで、昨年の都心に続き今年は駅西です。若者達が商店づくりに新風を吹き込み始めたこの地区に焦点をあて、学生のアイデアを募りました。

アイデアを考える対象地区が具体的になったこと、また、参加してくれた学生諸君の専門分野が多彩であったことから、バリエティに富んだ面白い提案をいただきました。もちろん、何でも受け入れてくれる可能性を秘めた駅西地区の特色こそが、若い脳を刺激したのかもしれませんが。

さらに、地元のまちづくり団体の方から、地区の現状を、街歩きを通じて丁寧に教えていただいたことが、アイデアの具体性、実現性の高さに反映されているようにも思いました。

とりわけ、オタク文化や商売に着目した提案の中には、やる気と機会さえあればすぐにでも実現しそうだと感じるものもありました。

名古屋の都心、とりわけ名古屋駅西地区に関心のある方々には、本冊子を是非お読みいただきたいと願っています。

名古屋都市センター 上席調査研究統括監 羽根田英樹

若いアイデアが駅西を刺激する

2013年3月10日 第1版発刊

著 者 なごや縁カレッジ事務局

発 行 者 公益財団法人 名古屋まちづくり公社 名古屋都市センター
〒406-8508
名古屋市中区金山町一丁目1番1
TEL.052-678-2216
FAX.052-678-2211
<http://www.nui.or.jp/en/index.html>

デザイン studio05 <http://studio-05.com>

**The Young
Encourages
EKI-NISHI !**